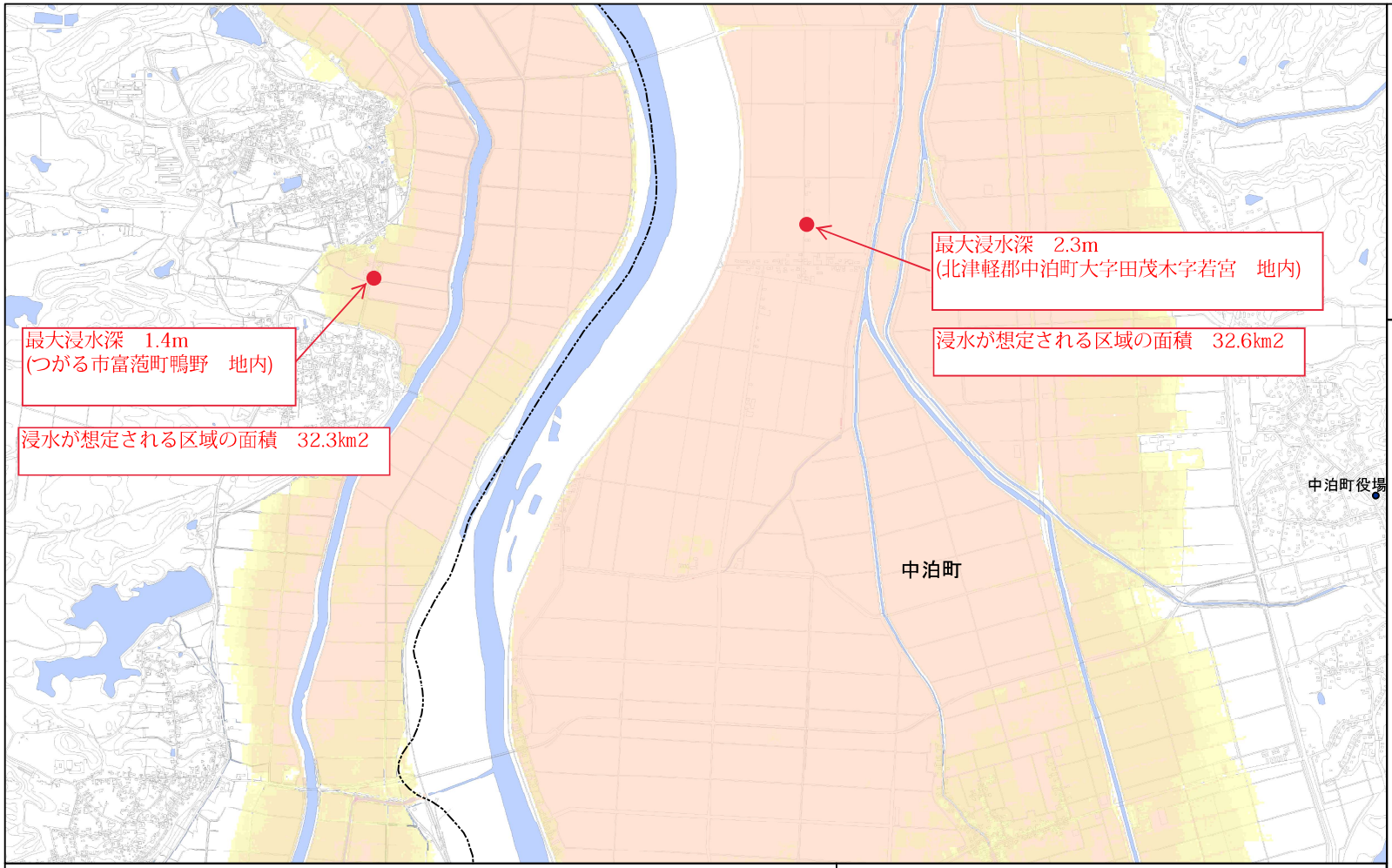
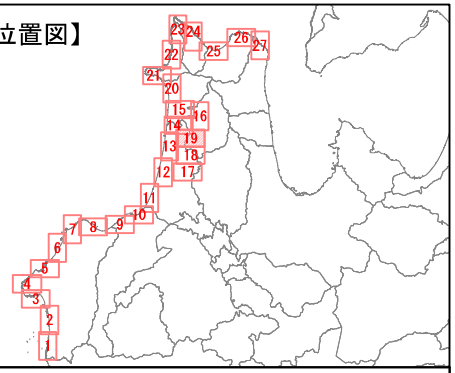
津軽沿岸 高潮浸水想定区域図（浸水深）



【位置図】



【説明文】

○「高潮浸水想定区域図」は、水防法第14条の3に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合の想定浸水区域、想定浸水深、浸水継続時間を2種類の図面で表示したものです。

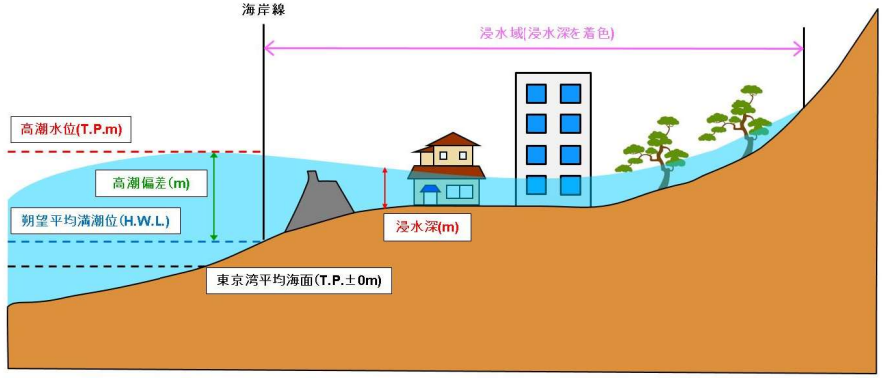
○高潮浸水想定区域図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風および低気圧を基本とし、各海岸で「潮位偏差」や「潮位偏差＋1/2有義波高」が最大となるよう、複数の経路を設定して高潮浸水シミュレーションを実施し、その結果を重ね合わせ最大の浸水深が示されるようにしています。

○浸水域や浸水深は、台風襲来時の潮位高さや、局所的な地面の凹凸、建築物の影響のほか、前提とした各種条件を超える事象により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなる場合があります。

○台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、洪水予報河川や水位周知河川では、計画規模の洪水が同時に発生した場合を想定しています。

○現在の科学的な知見を踏まえて作成したもので、これを超える高潮が発生しない訳ではありません。

○この図に関する詳細な説明については「高潮浸水想定区域図について（解説書）」をご参照ください。



【凡例】

浸水深(m)

0.01m以上　0.3m未満	3.0m以上　5.0m未満
0.3m以上　0.5m未満	5.0m以上　10.0m未満
0.5m以上　1.0m未満	10.0m以上　20.0m未満
1.0m以上　3.0m未満	20.0m以上

0　250　500　1,000 m

縮尺：1:25,000　(A3)

【基本事項】

(1)作成主体：　青森県
(2)作成年月：　令和8年7月
(3)対象となる沿岸：津軽沿岸
(4)対象とする外力
　台風　　中心気圧　　:950hPa
　　最大旋衡風速半径:75km
　　移動速度　　:13、43、53、63、73km/h
　低気圧　中心気圧　　:946hPa

○この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しました。（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 8JHs 134）